

山行報告書

受 付 No.	3 0 8	登山地・ルート	赤岳
目 的	冬山トレーニング		
メンバー	大山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
1・3・木	曇／ 晴れ	浜松＝美濃戸口P～行者小屋～赤岳～赤岳鉱泉～美濃戸口P＝浜松 6:39 9:30 11:30 13:46 15:30
・ ・		

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

2日に行く予定を3日に変更した。3日には冬型が緩み始めたため、天気には恵まれた。

【浜松～美濃戸口】

2年ぶりだが、路面の雪は、ハケ岳の鉢巻道路に出るまでなかった。

【美濃戸口～行者小屋】

林道も、雪が少ないように感じた。竜頭山でできた靴ずれが痛んだため、美濃戸山荘でテーピングをする。ここから先には登るにつれて、たっぷりの雪が出てきた。天候は曇っており、行者小屋に着いても山を見ることはできなかった。行者小屋の前は賑わっていた。

【行者小屋～赤岳】

行者小屋にてアイゼンを装着する。天候のせいか、時間のせいか、登る人はそれほど多くなく、他に3,4組くらいだった。文三郎尾根上部のハシゴのあたりから、下りて来る人ともすれ違うようになる。ガスも晴れてきて、阿弥陀岳が迫力だった。風が強いので目出帽をかぶる。

【赤岳～鉱泉】

山頂からは富士山も望めたが、展望荘に下る頃にはガスってしまった。斜面を下っているときにはそれほどでもなかったが、展望荘あたりの稜線はものすごい強風が吹いていた。地蔵尾根は上部は鎖が出ていたのでそれを頼りに慎重に下る。トレースがないと少しルートファインディングが試されるかな、と思った。行者に下る頃には晴れ渡っていて、アイゼンを外しながら堪能する。中山乗越まで少し上り、展望台にも立ち寄って鉱泉へと下る。お正月だけあって、西面のバリエーションルートに向かってトレースが延びていた。アイスキャンディーでアイスクライミングをしている人がいたが、初心者らしく、素人目にも下手だった。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者	
-----	----	----	----	---	---	---	-----	--